

おおや  
県営大屋地区緊急防災等工事計画書

(農村地域防災減災事業 大屋ため池)

岩 手 県

# 土地改良事業計画書

## 目 次

第1章 目的	1	3. 主要家畜頭数	13
第1節 目的	1	4. 主要作物作付状況	14
第2章 地域及び地積	1	5. 農業の動向	15
第1節 地域	1	第6節 地域環境の概況	15
第2節 地積	1	第4章 一般計画	16
第3章 現況	2	第1節 事業計画の要旨	16
第1節 気象及び海象	2	1. 要旨	16
1. 一般気象	2	2. 事業別面積	16
2. 特殊気象	3	第2節 営農計画及び土地利用計画	17
3. 海象	3	1. 営農計画の概要	17
第2節 土地状況	4	2. 土地利用区分	17
1. 地形・土壌及び侵食の程度	4	3. 作付方式	17
2. 土地利用の状況	6	4. 生産計画	17
3. 土地所有の状況	6	5. 労働改善計画	17
第3節 水利状況	7	第3節 用水計画	18
1. 用水状況	7	1. 計画基準年	18
2. 排水状況	10	2. 計画かんがい方式	18
3. 河川現況	10	3. 計画用水系統	18
第4節 道路概況	10	4. 計画用水量	20
第5節 地域農業の概況	11	5. 水源計画	21
1. 産業別就業人口	11	第4節 排水計画	23
2. 経営耕地広狭別農業経営体数	12	1. 計画基準雨量	23

2. 計画排水方式	23	第2節 排水施設	26
3. 計画排水系統	23	1. 排水水門	26
4. 計画排水量	23	2. 排水機	26
5. 排水対策	23	3. 排水路	26
6. 湛水検討	23	4. その他排水施設	26
第5節 道路計画	24	第3節 道路及び索道	26
1. 道路及び索道	24	1. 道路	26
2. 路線配置図	24	2. 索道	26
第6節 農用地造成計画	24	第4節 農用地造成	26
第7節 洪水調節計画	24	1. 農用地造成	26
第8節 干拓計画	24	2. 土壌改良	26
第9節 農用地整備計画	24	第5節 洪水調節施設	26
1. 区画整理	24	第6節 干拓施設	27
2. 暗渠排水	24	第7節 農用地整備施設	27
3. 客土	24	1. 区画整理	27
4. 農地保全	24	2. 暗渠排水	27
第10節 老朽ため池改修計画	25	3. 客土	27
第5章 主要工事計画	26	4. 除礫	27
第1節 用水施設	26	5. 農地保全	27
1. 貯水池	26	第8節 老朽ため池改修施設	27
2. 頭首工	26	第6章 附帯工事計画	28
3. 揚水機	26	第7章 工事の着手及び完了の予定時期	28
4. 用水路	26	第8章 環境との調和への配慮	28
5. その他かんがい施設	26		

第9章 換地計画の概要	29
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	29
第2節 換地区の設定	29
第3節 換地計画樹立の基本方針	29
第4節 土地の評価及び清算の方法	29
第5節 換地計画樹立の年度計画	29
第6節 換地処分の特則	29
第10章 事業費の総額及び内訳	30
第11章 効用	31
第12章 関連する事業	32
第13章 現況計画図面	32
1. 計画一般図	32
2. 計画平面図	32
3. 主要構造図	32

## 第1章 目的

### 第1節 目的

本地区は陸前高田市の北部に位置し、二級河川気仙川の左岸に拓けた平均勾配1/180の比較的平坦な水田地帯であり、本事業対象施設は、本地区上流側の受益面積3.5haのかんがい用水源となっている農業用ため池である。

本ため池は江戸時代以前に築堤されたため池であり、これまで小規模な補修を行いながら利用されてきたが、風水害等による堤体の侵食のほか、堤体断面の余裕高不足、放流施設の断面不足、及び緊急放流施設の不備など、安全管理機能が不十分であり、大雨出水時には堤体決壊の発生が危惧されている。

大雨出水等によって堤体が決壊した場合、下流域の農地・農業用施設のみならず、周辺人家等にも被害が及ぶ危険があることから、早急に整備する必要がある。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農村地域防災減災事業	岩手県陸前高田市横田町字宇南沢地内

### 第2節 地積

(令和6年 3月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名							
農村地域防災減災事業	陸前高田市	3.5	ha	ha	ha	ha	ha	
		3.5					3.5	
合計		3.5					3.5	

### 第3章 現況

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	大船渡	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H25年～R4年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(℃)		20.0 ℃	8.3 ℃	12.2 ℃	
降水量	平均(mm)	706.1 mm	864.3 mm	1,557.6 mm	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	51 日	72 日	123 日	
	基準年(日)	—	—	—	
根雪期間		—		— 日間	
無霜期間		4月21日 ～ 11月7日		201 日間	
最多風向		NNW	最大風速	20.6 m/s	

(計画樹立参考資料 -雨量資料- 令和6年3月 岩手県農林水産部農村計画課)

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	大船渡															
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
T6年 ~ R4年																
最大日雨量 (mm)	222	T6. 3. 24	1/80	199	S52. 5. 16	1/33	198	S54. 10. 19	1/32	193	S61. 8. 5	1/26	187	S11. 7. 9	1/21	
最大時間雨量 (mm)	56	S50. 9. 5	1/37	55	S30. 9. 6	1/32	51	R2. 7. 1	1/19	51	H25. 7. 26	1/19	51	S35. 10. 8	1/19	
最大4時間雨量 (mm)	129	S35. 10. 8	1/61	127.5	R1. 10. 13	1/55	125	R1. 10. 13	1/46	114	S30. 9. 6	1/22	110	R1. 10. 12	1/17	
最大3日連続雨量 (mm)	293	S11. 7. 10	1/55	292	H11. 7. 15	1/53	290	H11. 7. 14	1/51	282	S52. 5. 17	1/41	276	S5. 8. 2	1/35	
最大連続干天日数 (日)	42	S48. 6. 24	—	39	H6. 7. 12	—	38	S59. 7. 20	1/902	36	S18. 6. 23	1/339	32	S20. 7. 22	1/62	

(計画樹立参考資料 -雨量資料- 令和6年3月 岩手県農林水産部農村計画課)

3. 海象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形・土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
		1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
農村地域 防災減災 事業	面積 (ha)	—	3.5	—	—	—	3.5							107	23	
	比率 (%)	—	100	—	—	—	100									
合計	面積 (ha)	—	3.5	—	—	—	3.5									
	比率 (%)	—	100	—	—	—	100									

[土壌]

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表						面積 (ha)		備考	
	土壌断面						事業名			
	色	腐植	礫層	土性			泥炭層 黒泥層及び グライ層	農村地域防 災減災事業		計
				表土	下層土					
一層				二層	三層					
灰色土壌強粘土構造型	灰	なし	なし	LIC	LIC		なし	3.5	3.5	
計								3.5	3.5	

2. 土地利用の状況

(令和6年3月31日現在)

(第4表-2)

事業名	土地利用 区分	耕地							採草 放牧地	原野	山林	その他	計	備考
		水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他の 樹園地	小計						
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農村地域防災 減災事業	陸前高田市	3.5						3.5					3.5	
合 計		3.5						3.5					3.5	

3. 土地所有の状況

(令和6年3月31日現在)

(第4表-3)

事業名	所有別 区分	個人有				共有	法人有	計	備考
農村地域減災 防災事業	面積(ha)	3.5							
	受益者数(人)								
	筆数(筆)								
	権利関係								
	関係受益者数								

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

次頁参照

(2) 用水施設

(ア)取水方法一覧表

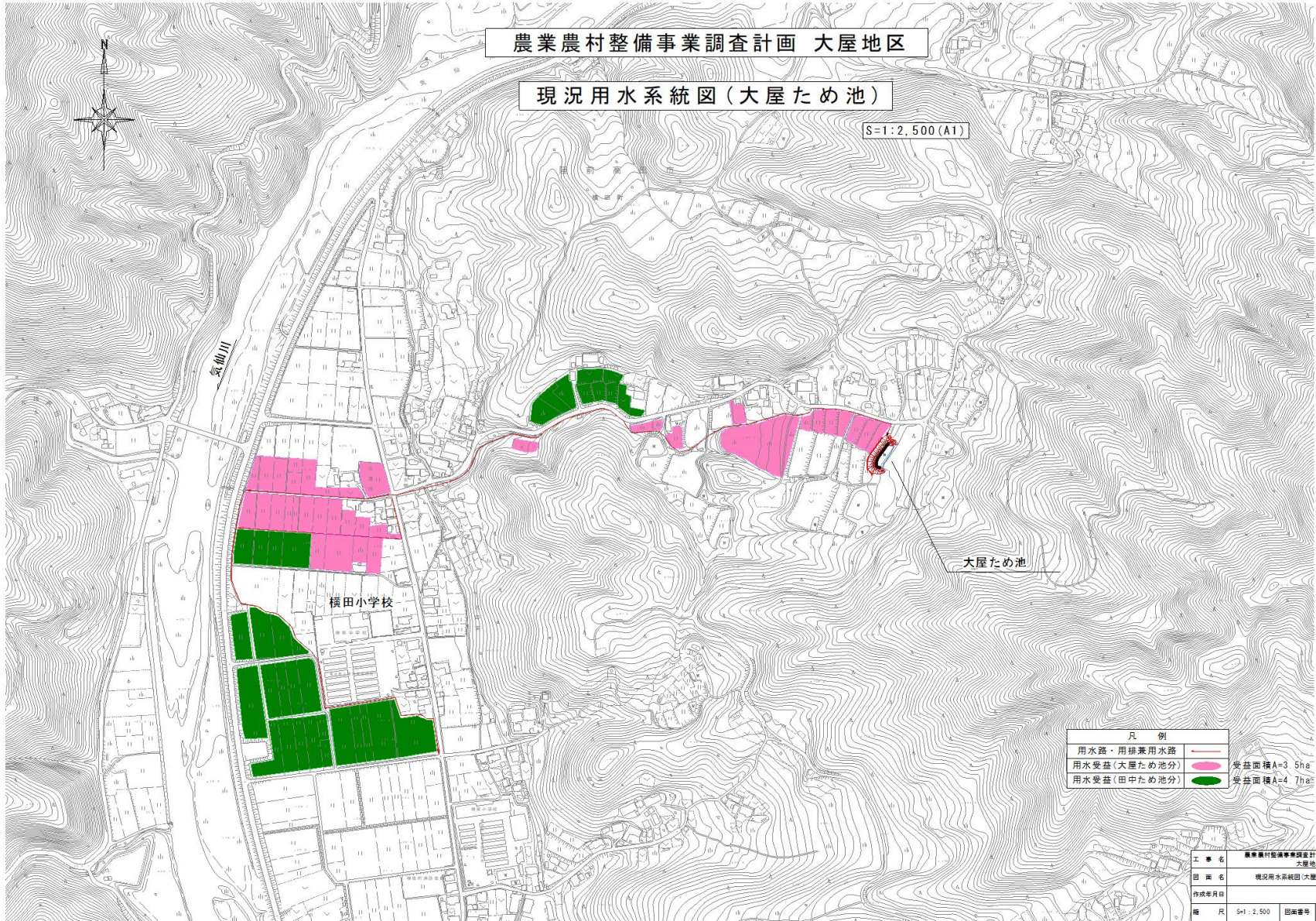
(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権等		延べ取水量	備考
		500ha以上		500~100ha		100ha未満		箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農村地域防 災減災事業	貯水池					1	3.5	1	3.5					0.024	
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計					1	3.5	1	3.5					0.024	
合計						1	3.5	1	3.5					0.024	

農業農村整備事業調査計画 大屋地区

現況用水系統図(大屋ため池)

S=1:2,500(A1)



凡 例	
用水路・用排兼用水路	—
用水受益(大屋ため池分)	● 受益面積A=3.5ha
用水受益(田中ため池分)	● 受益面積A=4.7ha

工事名	農業農村整備事業調査計画 大屋地区		
図面名	現況用水系統図(大屋ため池)		
作成年月日			
縮尺	S=1:2,500	図面番号	
会社名			
巻数	図面6		

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)(承認番号 R 7Jhs 1040号)」

(イ)改修を要する施設の一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
農村地域 防災減災 事業	貯 水 池	1	3.5	土えん堤	3.77m×80.0m	江戸時代以前	豪雨・耐震対策	
	井 堰							
	自然取入口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	そ の 他							
	計							
合 計			3.5					

## (3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(イ) その他の被害状況 該当なし

## (4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額(千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
農村地域 減災防災 事業	3.9	0.1	—	4.0	1,492	4,383	34,980	14,298	33,084	88,237	
計	3.9	0.1	—	4.0	1,492	4,383	34,980	14,298	33,084	88,237	

## 2. 排水状況

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設 該当なし

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

## 3. 河川状況

(1) 河川状況 該当なし

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

## 第4節 道路概況

### 1. 道路概況

本地区の西側には、国道340号が通っており、それらに繋がる市道から大屋ため池へ接続可能である。また、ため池堤体には管理用道路が整備されていることから、施設管理に対する利便性は確保されている。

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

令和2年国勢調査 産業(大分類)労働力人口 (第6表-1)

項目	総数	農業	林業	漁業	鉱業 採石業 砂利採 取業	建設業	製造業	電気ガ ス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売業 小売業	金融業 保険業	不動産 業 物品賃 貸業	サービ ス業	公務	その他	備考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
陸前高田市	9,036	488	69	446	24	1,391	1,247	18	362	1,210	107	72	3,197	359	46	
計	9,036	488	69	446	24	1,391	1,247	18	362	1,210	107	72	3,197	359	46	
比率 (%)	100	5	1	5	0	16	14	0	4	13	1	1	35	4	1	

2. 経営耕地広狭別農業経営体数

(2020農林業センサス)

(第6表-2)

区分	農業経営体数	経営耕地広狭別農業経営体数 (経営体)														1 経営体当たり 平均農用地面積 (ha)					備考	
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ～ 30.0	30.0 ～ 50.0	50.0 ～ 100.0	100.0 ～ 150.0	150.0 ha 以上	田	畑	樹園地	小計	草地		計
市町村名	(経営体)																					
陸前高田市	313	30	100	115	30	11	5	8	9	3	1	—	1	—	—	0.9	0.3	0.2	1.4	—	1.4	
計	313	30	100	115	30	11	5	8	9	3	1	—	1	—	—	0.9	0.3	0.2	1.4	—	1.4	
比率 (%)	100	10	32	37	10	3	2	2	3	1	—	—	—	—	—	64	22	14	100	—	100	

3. 主要家畜頭数

(2020農林業センサス) (第6表-3)

項目 市町村名	主 要 家 畜								備考
	乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採卵鶏		
	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (100羽)	戸 数 (戸)	
陸前高田市	—	2	97	7	—	—	—	—	
計	—	2	97	7	—	—	—	—	
100経営体 当たり数量 (頭)	—		31		—		—		
飼養経営体数 割合 (%)	1		2		—		—		

4. 主要作物作付状況

(第6表-4)

市町村名	陸前高田市			計	作付割合	備考
経営耕地面積(ha)	440			440		
区分 作物名	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)		
稲	220			220	74	2020年農林業センサス  作付面積は、経営耕地面積のうち販売目的で作付（栽培）した作物の類別作付（栽培）面積である。  「X」は秘密保護上統計数値を公表してないもの。
麦類	—			—	—	
雑穀	—			—	—	
いも類	—			—	—	
豆類	21			21	7	
工芸農作物	x			—	—	
野菜類	22			22	7	
果樹類	—			—	—	
花き類・花木	1			1	—	
その他の作物	34			34	12	
計	298			298	100	

5. 農業の動向

(2020農林業センサス)

(第6表-5)

項目 区分	農業経営体						土地			主要作物			主要家畜			その他	地域 指定等	備考
	B	A	経営耕地 規模	B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A				
変化の 状況 (C年 を100 とする 指数)	農業 経営体数	40	27	3.0ha 未満	55	37	耕地	75	66	水稻	105	105	乳用牛	-	-	陸前高田市 農振(S46年) 野菜(S50年) 酪農(H8年)	A: 令和2年 (2020)  B: 平成27年 (2015)  C: 平成22年 (2010)	
	個人 経営体数	45	31	3.0~ 5.0ha	122	89	田	79	67	雑穀	900	-	肉用牛	-	84			
	団体経営体 (法人)数	53	53	5.0~ 10.0ha	114	129	畑	58	52	豆類	10	54	豚	-	-			
	団体経営体 (非法人)数	4	2	10.0ha 以上	67	167	樹園地	86	89	野菜類	69	15	採卵鶏	-	-			
変化の 理由	農業経営体数、個人 経営体数、団体経営体 (法人)及び団体経営体 (非法人)数の減少は、 高齢化の進行及び後継 者の不足による。			5.0ha未満の減少及 び5.0ha以上の増加 は、農地の利用集積の 進展による。			耕地、田の減少は、 農地の転用等による。			豆類及び野菜類は、 近年減少傾向となって いる。			乳用牛、採卵鶏の減 少は、飼養経営体数の 減少による。					

第6節 地域環境の概況

本地区は、陸前高田市の北部に位置し、二級河川気仙川の左岸に開けた比較的平坦な水田地帯である。

ため池とその周辺には広葉樹を種とした自然林が広がり、そこに生息する両生類、昆虫類、魚類、底生生物、及び多くの植物が生育しており、多様な自然環境が形成されている。

本地区の対象施設である大屋ため池及びその周辺では、「環境省レッドリスト」及び「岩手県における絶滅のおそれのある野生動植物のリスト」に記載されている希少種の生育・生息が確認されている。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

本事業において、農業生産の維持、農業経営の安定及び洪水等による災害の未然防止を図るため、大屋ため池の機能保全に必要な改修の整備を実施するものである。

#### 2. 事業別面積

(第7表)

事業名 土地利用区分	農村地域防災減災事業												計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
ため池改修	3.5					3.5							3.5	
計	3.5					3.5							3.5	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要 該当なし

2. 土地利用区分

(第8表-1)

事業名	土地利用 区分	耕地							牧草 放牧地	原野	山林	その他	計	備考
		水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他の 樹園地	小計						
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			
農村地域 防災減災 事業	現況	3.5						3.5					3.5	
	計画	3.5						3.5					3.5	
計	現況	3.5						3.5					3.5	
	計画	3.5						3.5					3.5	

3. 作付方式 該当なし

4. 生産計画 該当なし

5. 労働改善計画 該当なし

### 第3節 用水計画

#### 1. 計画基準年

2009年（平成21年）を計画基準年とする。（近傍地区である「竹駒・下矢作地区」を参照）

#### 2. 計画かんがい方式

湛水かんがい

代掻期：5月1日～5月3日 普通期：5月4日～8月31日

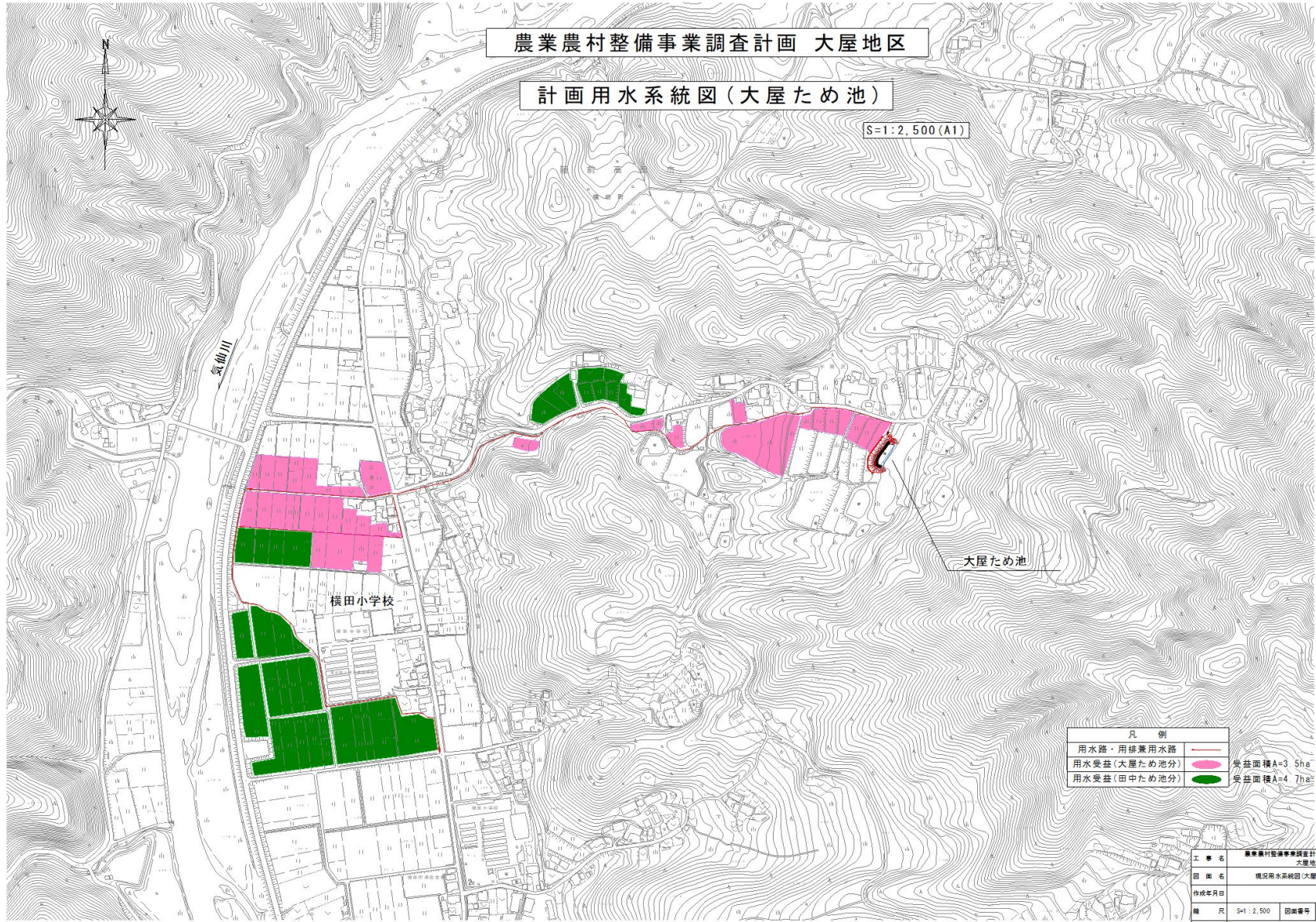
#### 3. 計画用水系統

次頁参照

農業農村整備事業調査計画 大屋地区

計画用水系統図(大屋ため池)

S=1:2,500(A1)



凡 例	
用水路・用排兼用水路	—
用水受益(大屋ため池分)	■ 受益面積A=3.5ha
用水受益(田中ため池分)	■ 受益面積A=4.7ha

工 事 名	農業農村整備事業調査計画 大屋地区		
図 面 名	規画用水系統図(大屋ため池)		
作成年月日			
縮 尺	S=1:2,500	図面番号	
会 社 名			
事業年度	6		

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)(承認番号 R 7JHs 1040号)」

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第9表-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい		水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失量 (%)	粗用水量		備考		
		事業名			計	普通期 計画平均 単位 用水量 (mm/日)	代掻期 計画代 掻単 位 用水量 (mm)	面積 (ha)	1日当 り計 画平 均か ん水 深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	1日当 り計 画平 均か ん水 深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)			計画平 均単 位 用水 量 (mm/日)	面積 (ha)		平均	最大
		農村地 域防 災事 業																			
大屋ため池	農業 用水	3.5		3.5			3.5											0.024			

(2) 営農飲雑用水

該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画

該当なし

(第9表-2)

区分	項目	消費水量 a (千m <sup>3</sup> )	有効雨量 b (千m <sup>3</sup> )	純用水量 c=a-b (千m <sup>3</sup> )	粗用水量 d= $\frac{c}{(1-\alpha)}$ (千m <sup>3</sup> )	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源種 工 種	備考 損失率 : α
						水源名	取水地点 利用可能 量 e (千m <sup>3</sup> )	田 畑 面 利用可能 f (千m <sup>4</sup> )	純不足 水量 g=c-f (千m <sup>3</sup> )	全不足 水量 h=b-e (千m <sup>3</sup> )	水源名	水 量 (千m <sup>3</sup> )		
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第9表-3)

貯水地名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
	直接	間接	事業名							
			用排水 施設整備		計					
大屋ため池	0.035	—	3.5		3.5	0.4			0.024	

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(第9表-4)

取水施設名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)			取水量 (m <sup>3</sup> /s)		渇水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			事業名			最 大	平 均		
			用排水 施設整備		計				
計									

(ウ)揚水機

該当なし

(第9表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m <sup>3</sup> /s)		揚水機				備考
		事業名			最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)	全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	
		用排水 施設整備		計							

(エ)用水路

該当なし

(第9表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
	用排水 施設整備		計				
計							

(オ)その他の水源施設

該当なし

(3) 水質水温

該当なし

#### 第4節 排水計画

- |           |      |
|-----------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画排水方式 | 該当なし |
| 3. 計画排水系統 | 該当なし |
| 4. 計画排水量  | 該当なし |
| 5. 排水対策   | 該当なし |
| (1)排水水門   | 該当なし |
| (2)排水機    | 該当なし |
| (3)排水路    | 該当なし |
| (4)その他    | 該当なし |
| 6. 湛水検討   | 該当なし |

第5節 道路計画	該当なし
1. 道路及び索道	該当なし
2. 路線配置図	該当なし
第6節 農用地造成計画	該当なし
第7節 洪水調節計画	該当なし
第8節 干拓計画	該当なし
第9節 農用地整備計画	該当なし
1. 区画整理	該当なし
2. 暗渠排水	該当なし
3. 客土	該当なし
4. 農地保全	該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

計画降雨	観測機関名	陸前高田観測所
	計画基準雨量	365.7 mm/24h 200年確率雨量
	降雨根拠	計画降水量 365.7 mm/24h
	降雨強度	$re = 117.80 \text{ mm/hr}$

(2) 計画洪水量

計画降雨	施設名	大屋ため池	
	直接	3.5 ha	合計
	間接	ha	3.5 ha
	計算式	$Q = 1/3.6 \cdot \gamma e \cdot A$	
	流出率	$f = 0.624$	
	洪水流出量	$Q = 1.145 \text{ m}^3/\text{s}$	
	計画洪水量	$Q = 1.374 \text{ m}^3/\text{s}$	

※洪水流出量×1.2

2. 堤体補強計画

(1) 法面補強施設 上流法面：ブロックマット工、下流法面：張芝工による法面保護

(2) 漏水防止工 遮水シート（ベントナイト系）による表面遮水型

3. 取水施設改修計画

(1) 取水施設改修計画

工種	取水形式	取水口径	底樋管径	底樋延長	最大取水量	緊急放流量	備考
取水工	水槽型	φ200	ポリ管φ800	13.00m	0.024m <sup>3</sup> /s	0.002m <sup>3</sup> /s	

## 第5章 主要工事計画

### 第1節 用水施設

- |              |      |
|--------------|------|
| 1. 貯水池       | 該当なし |
| 2. 頭首工       | 該当なし |
| 3. 揚水機       | 該当なし |
| 4. 用水路       | 該当なし |
| 5. その他かんがい施設 | 該当なし |

### 第2節 排水施設

- |            |      |
|------------|------|
| 1. 排水水門    | 該当なし |
| 2. 排水機     | 該当なし |
| 3. 排水路     | 該当なし |
| 4. その他排水施設 | 該当なし |

### 第3節 道路及び索道

- |       |      |
|-------|------|
| 1. 道路 | 該当なし |
| 2. 索道 | 該当なし |

### 第4節 農用地造成

- |          |      |
|----------|------|
| 1. 農用地造成 | 該当なし |
| 2. 土壌改良  | 該当なし |

### 第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設

- 1. 区画整理 該当なし
- 2. 暗渠排水 該当なし
- 3. 客土 該当なし
- 4. 除礫 該当なし
- 5. 農地保全 該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第15表)

名称	大屋ため池			位置	岩手県陸前高田市横田町字南沢地内			
堤体	形式	流域 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m <sup>3</sup> )	堤頂幅 (m)	貯水量 (m <sup>3</sup> )	備考
	表面遮水型	0.035	3.77	80.0	2,276	3.00	380	
洪水吐	形式 (km <sup>2</sup> )	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	規模 (m)		取水施設	形式	取水量 (m <sup>3</sup> /s)	
	正面越流型	1.374	B=3.50			取水栓	0.024	

2. 堤体補強施設

- (1) のり面補強施設 上流法面：ブロックマット工、下流法面：張芝工による法面保護
- (2) 漏水防止工 遮水シート（ベントナイト系）による表面遮水型

## 第6章 附帯工事計画

該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手 : 令和8年度

完了予定時期 : 令和12年度

## 第8章 環境との調和への配慮

本事業においては、関係市の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、生態系等との調和に配慮する。

本地区は、関係市の田園環境整備マスタープランにおいて、「環境配慮区域」とされていることから、地域で生育・生息が確認されている動植物の生息環境への負荷の低減に努め、現況保全すること等により、環境の改変を最小限にするように努めることとしている。

環境との調和への配慮として、ため池の水抜きの際に、希少な魚類、両性類、昆虫類、底生生物が確認された場合は、移植候補地に移植する。

また、工事の実施にあたっては、できるだけ低騒音・低振動の重機による作業、工事中は濁水が下流側に流出しないように濁水対策工を行い、周辺環境への影響の軽減に努める。

## 第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該当なし

第2節 換地区の設定

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

該当なし

第4節 土地の評価及び清算の方法

該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画

該当なし

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第16表)

事業名		農村地域防災減災事業	備考
区分		(千円)	
主要工事			令和7年度単価
	工事費	80,000	
	測量費及び試験費	20,000	
	用地買収及び補償費	3,000	
	小計	103,000	
	工事雑費		
	計	103,000	
	地方事務費		
	合計	103,000	
(関連事業 参考)			
	計		

(単位：千円)

総事業費		負担内訳				備考
費目	全額	国(55%)	県(36%)	市町村(9%)	農家(0%)	
事業費	103,000	56,650	37,080	9,270	0	
工事雑費 地方事務費	-	-	-	-	-	
総事業費	103,000	56,650	37,080	9,270	0	

第11章 効用

(第17表)

事業名	項目	年総効果 (便益)額	現況年総農業 所得額	年総増加農業 所得額	備 考	
	区分	(千円)	(千円)	(千円)		
農村地域 防災減災 事業	食料の安定供給の確保に関する効果	1,849		—		
	作物生産効果	2,025		—		
	営農経費節減効果	△ 130		—		
	維持管理節減効果	△ 46		—		
	農業の持続的発展に関する効果	1,745		—		
	災害防止効果(農業関係資産)	1,745		—		
	農村の振興に関する効果	1,413		—		
	災害防止効果(一般資産)	1,413		—		
	多面的機能の発揮に関する効果	611		—		
	災害防止効果(公共資産)	611		—		
	その他の効果	546		—		
	国産農産物安定供給効果	546		—		
	計	6,164		—		令和7年度単価

(参考)

総便益額(現在価値化)

127,711 千円

÷

総費用(現在価値化)

75,000 千円

総費用総便益比

1.70

>

1.00

## 第12章 関連する事業

該当なし

(第18表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
計				

## 第13章 現況・計画図面

- |          |   |   |
|----------|---|---|
| 1. 計画一般図 | 別 | 添 |
| 2. 計画平面図 | 別 | 添 |
| 3. 主要構造図 | 別 | 添 |

# 農村地域防災減災事業 大屋地区

## 計画一般図

S=1:25,000

### 県内位置図



陸前高田市

田中ため池

大屋ため池

事業概要(大屋ため池)	
受益面積	3.5ha
総事業費	103,000,000円
主要工事	堤体工 1式
	取水工 1式
	洪水吐工 1式

凡 例	
改修ため池	
ため池流域	
想定被害区域	
用水受益(大屋ため池分)	
用水受益(田中ため池分)	

「測量法に基づく国土地理院長承認(複製)(承認番号 R 7JHf 471)」  
 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

農村地域防災減災事業 大屋地区

計画平面図(大屋ため池)

S=1:2,500 (A1)



家仙川

横田小学校

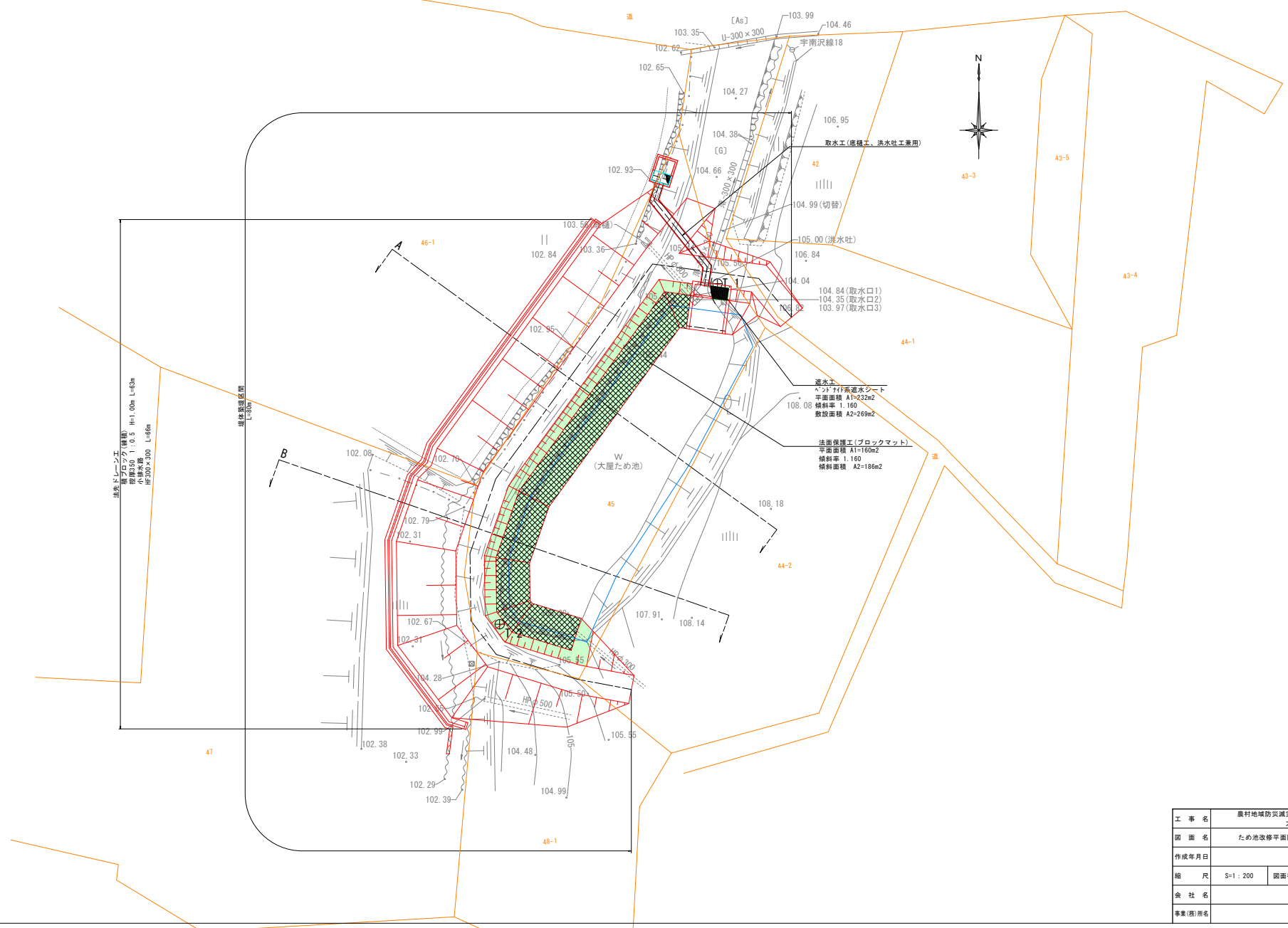


- 大屋ため池
- ・堤体工 1式
  - ・取水工 1式
  - ・洪水吐工 1式

工事名	農村地域防災減災事業 大屋地区		
図面名	計画平面図(大屋ため池)		
作成年月日			
縮尺	S=1:2,500	図面番号	2-1
会社名			
専業(商)所名			

# 大屋ため池 改修平面図

S=1:200 (A1)



標準ドレーン工  
掘削ブロック(厚底)  
掘削ブロック 1:0.3 H=1.00m L=50m  
外排水路  
BF300×300 L=60m

標準排水路  
L=30m

取水工(底橋工、洪水吐工兼用)

105.00(洪水吐)

104.84(取水口1)  
104.35(取水口2)  
103.97(取水口3)

逆水工  
ペドナク系逆水シート  
平面面積 A1=232m<sup>2</sup>  
108.08 傾斜率 1.160  
敷設面積 A2=249m<sup>2</sup>

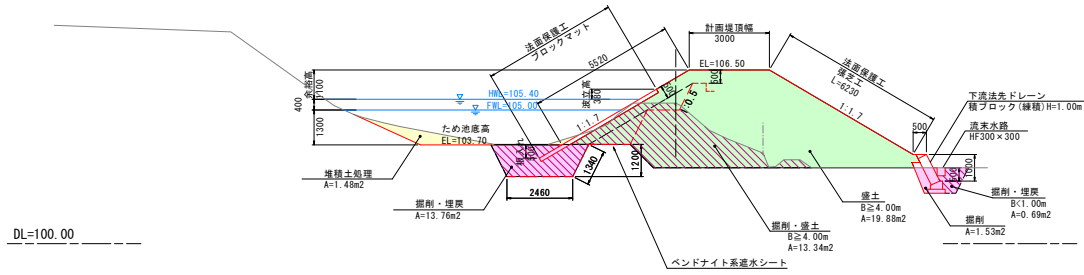
法面保護工(ブロックマット)  
平面面積 A1=160m<sup>2</sup>  
傾斜率 1.160  
傾斜面積 A2=186m<sup>2</sup>

工事名	農村地域防災減災事業 大屋地区		
図面名	ため池改修平面図(大屋ため池)		
作成年月日			
縮尺	S=1:200	図面番号	8-1
会社名			
専業(役)所名			

# 大屋ため池 改修断面図

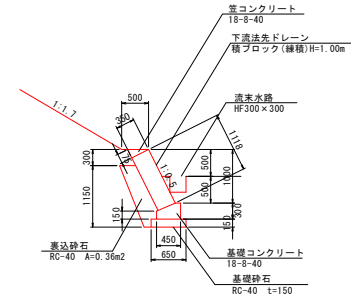
S=1:100 (A1)

## A-A 断面図

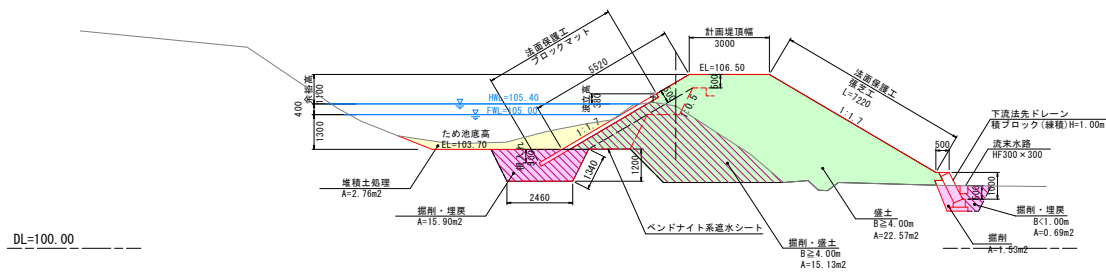


# 法先ドレーン標準図

S=1:50 (A1)



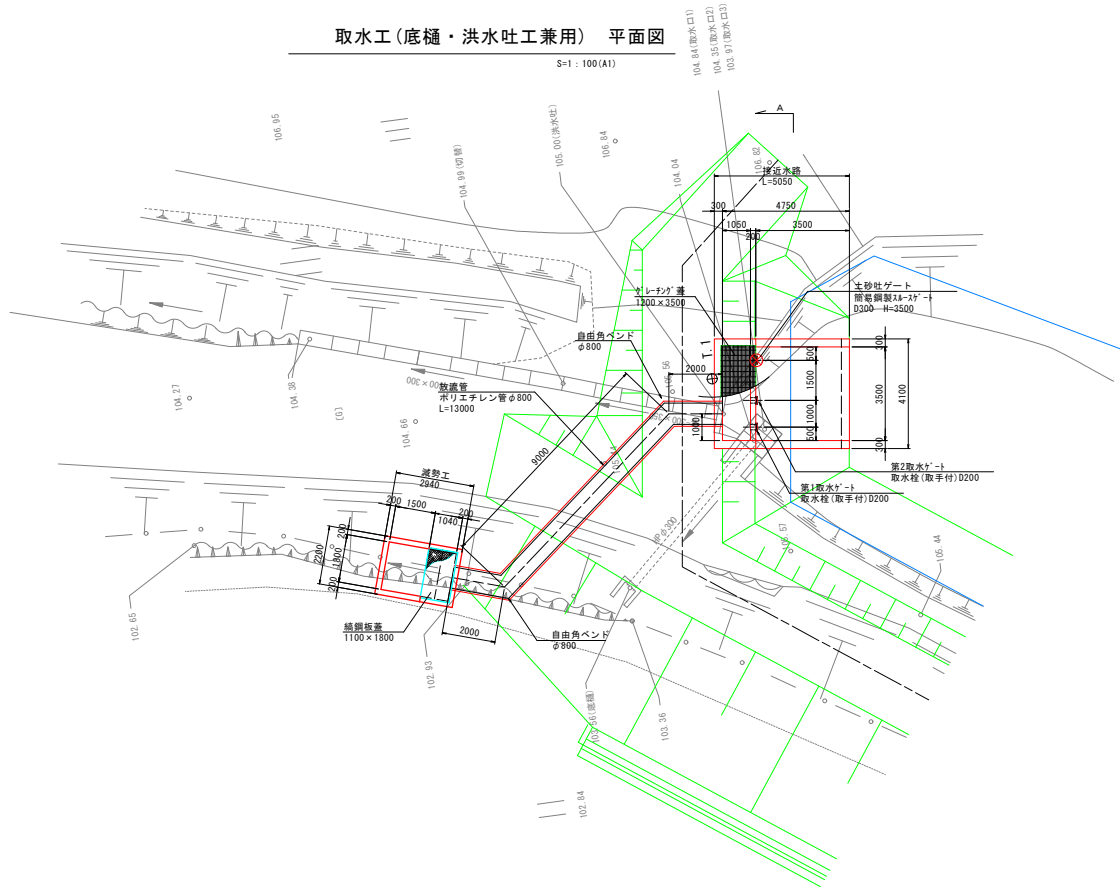
## B-B 断面図



工事名	農村地域防災減災事業 大屋地区		
図面名	堤体断面図(大屋ため池)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	8-2
会社名			
専業(役)所名			

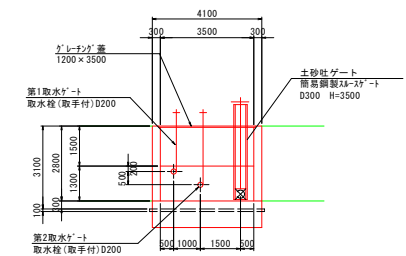
取水工(底樋・洪水吐工兼用) 平面図

S=1:100(A1)



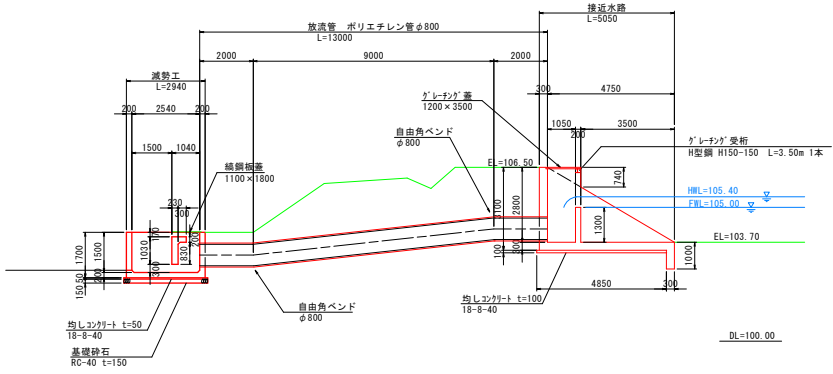
A-A 断面図

S=1:100(A1)



側面図

S=1:100(A1)

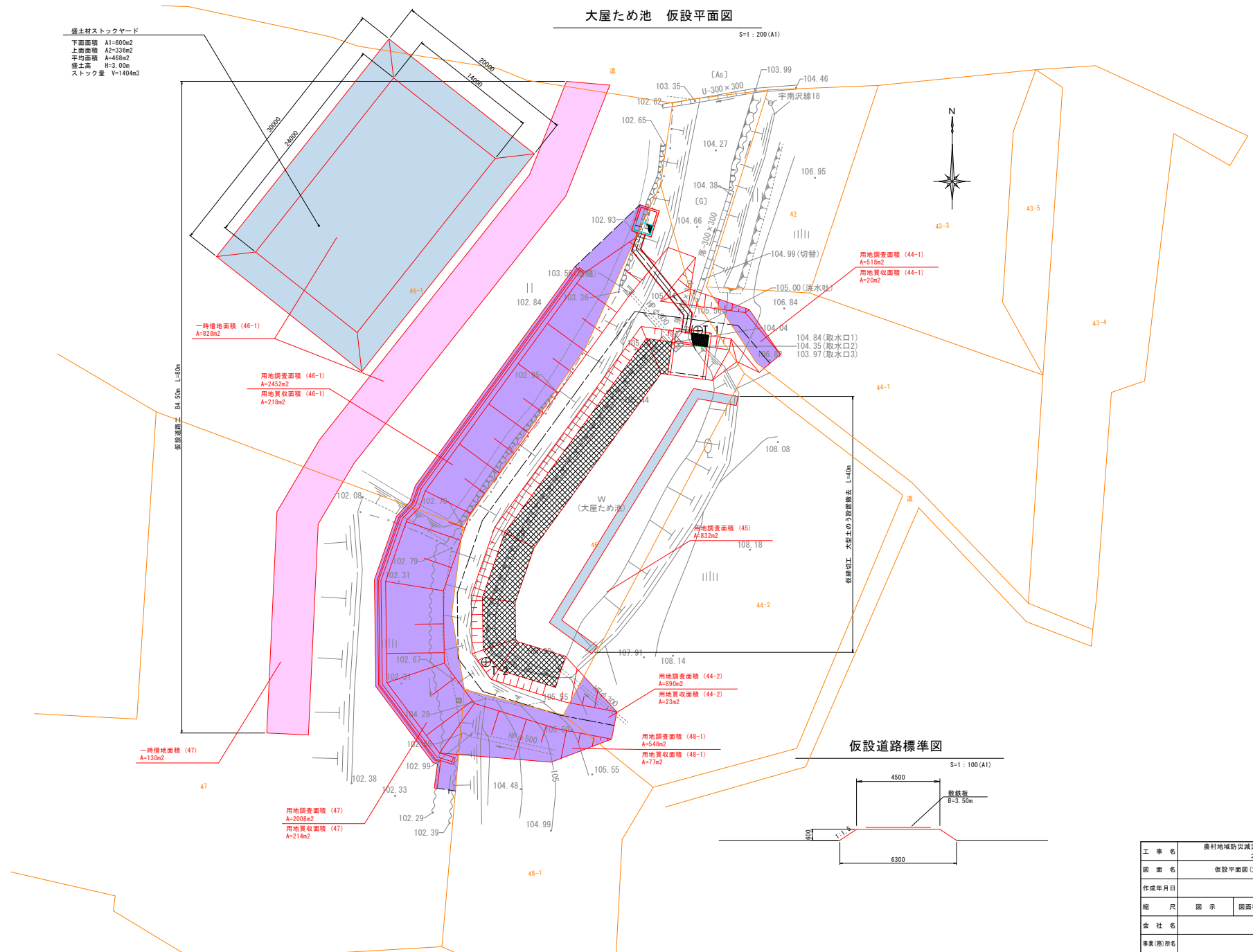


工事名	農村地域防災減災事業 大堰地区		
図面名	取水工構造図(大堰ため池)		
作成年月日			
縮尺	S=1:100	図面番号	8-3
会社名			
専業(役)所名			

# 大屋ため池 仮設平面図

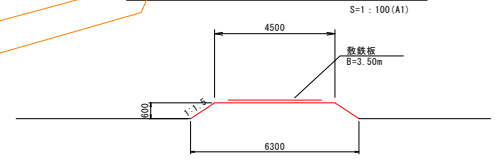
S=1:200(A1)

盛土材ストックヤード  
 下面面積 A1=600m<sup>2</sup>  
 上面面積 A2=336m<sup>2</sup>  
 平均面積 A=468m<sup>2</sup>  
 盛土高 H=3.00m  
 ストック量 V=1404m<sup>3</sup>



## 仮設道路標準図

S=1:100(A1)



工事名	農村地域防災減災事業 大屋地区		
図面名	仮設平面図(大屋ため池)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	8-4
会社名			
専業(商)所名			